

産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会 自動車
リサイクルWG 中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会
合同会議

ヒアリングご説明資料

2025年10月14日（火）

日本自動車輸入組合（JAIA）
Japan Automobile Importers Association

1. JAIAの概要（P3～P4）及び リサイクルの取り組み（P5）

拡大生産者責任としての「中心的な役割を果たす」を基本方針に、自動車リサイクル等の適正化・高度化を推進するため、2005年の自動車リサイクル法本格施行に先立ち、リサイクル委員会を組織し、これまで100回以上開催し、自動車リサイクル法に対応。

2025年度より従来の「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」の枠を超え、経済成長と資源循環を両立させる、より包括的な「サーキュラーエコノミー」へ事業計画のコンセプトを変更し、再生プラスチックにも活動をひろげ対応

2. JAIAの電動車関連事業（5本柱、P6～P7）

バッテリーリサイクルを重要な課題と位置づけて活動

3. JAIAのバッテリーリサイクルに関する取り組み（P8～P13）

- ・ LiB共同回収システムへの加入促進
- ・ バッテリーリサイクルTFでの活動
- ・ 賛助会員制度を立ち上げ、バッテリーリサイクル企業と連携
- ・ JAIA主催イベントを通じ、バッテリーリサイクル高度化の情報発信

- 日本で自動車の輸入が自由化された1965年（昭和40年）に、輸出入取引法に基づく非営利法人として設立。
- 海外の自動車メーカーと直接輸入契約を結ぶインポーターと賛助会員で構成。
- 我が国自動車市場に関わる諸制度と海外諸国との国際的調和等を目指して事業活動に取り組み、我が国のモータリゼーションの健全な発展と自動車の輸入貿易の健全な発展に寄与するよう努めている。

名 称：日本自動車輸入組合（JAIA：Japan Automobile Importers Association）

所 在 地：〒105-0014 東京都港区芝3-1-15 芝ボートビル5階

根 拠 法：輸出入取引法

設 立：1965年11月1日

代 表 者：理事長 ゲルティンガー 剛

（メルセデス・ベンツ日本合同会社 会長）

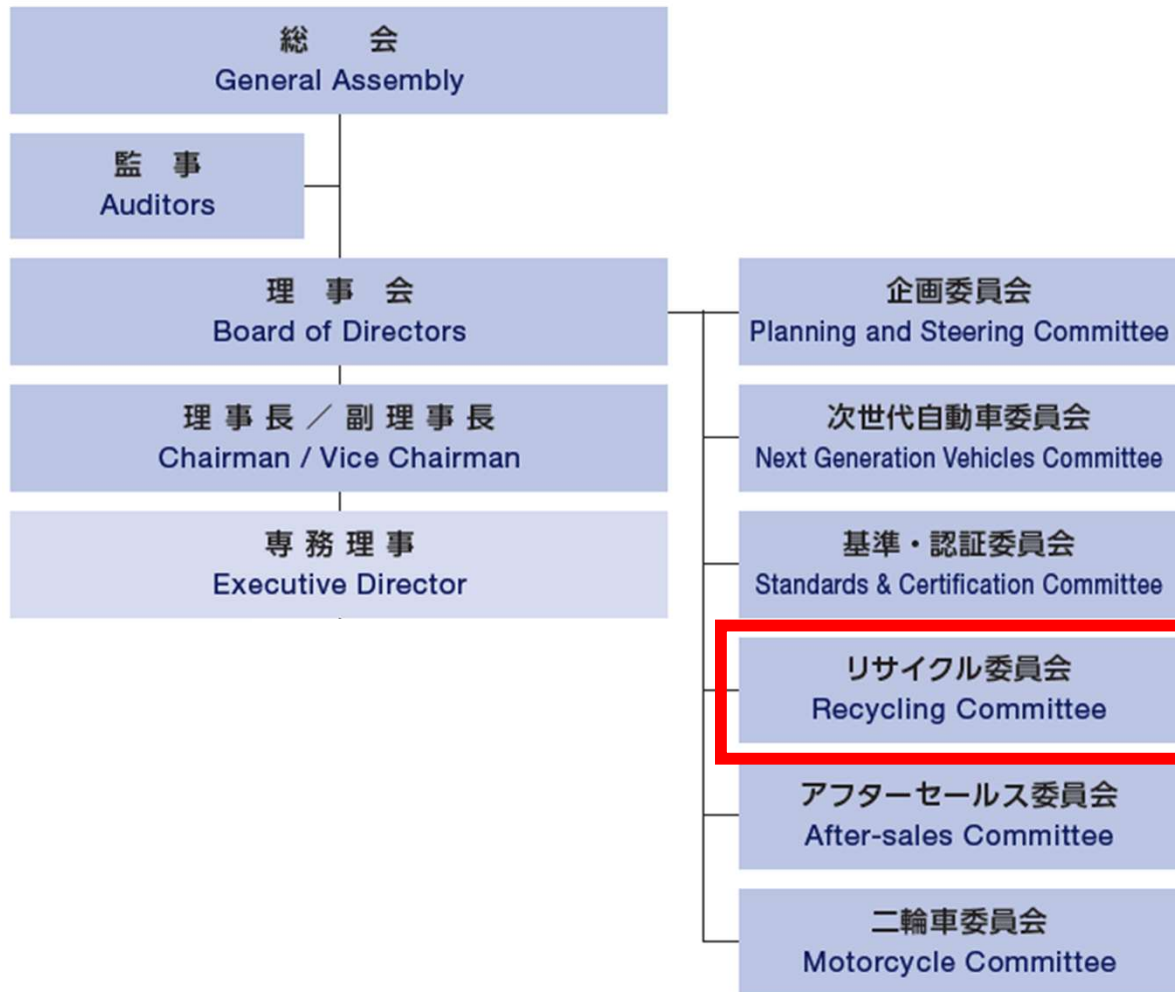
会 員：四輪26社、二輪12社（2025年10月1日現在）

賛助会員：充電・充填インフラ関連14社、バッテリー・リサイクル関連4社、
整備人材関連1社（2025年7月末現在）

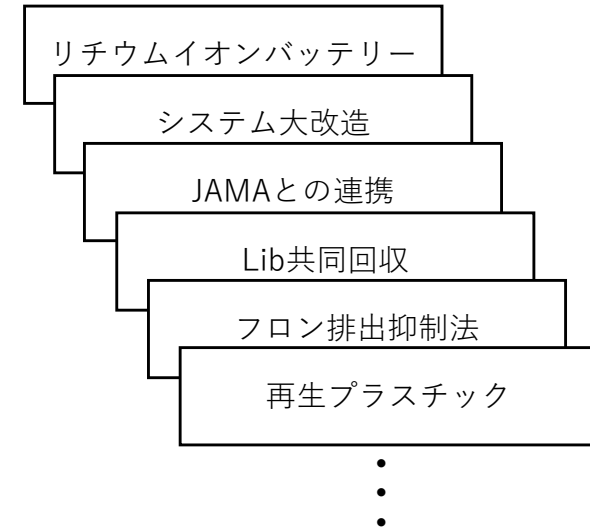


理事長 ゲルティンガー 剛

1. 日本自動車輸入組合（JAIA）の概要



■ リサイクル委員会のテーマ例



■ 最近特に集中的に議論したテーマ

- ✓リチウムイオンバッテリー
- ✓システム大改造
- ✓再生プラスチック

- ・ 2005年の自動車リサイクル法本格施行に先立ち、JAIA内にリサイクル委員会を立ち上げ。
- ・ 5年毎の自動車リサイクル制度のレビューの際には 集中的に審議を重ねたほか、過去100回以上開催し、特に自動車リサイクル法における会員の法順守コンプライアンスに係る情報共有と周知徹底等を図ったほか、自動車リサイクルに関わる様々な課題（システム大改造、エアコン新冷媒への転換、再生プラスチック対応等々）を審議・取り組み。

1. JAIAの概要 及び リサイクルの取り組み

2025年度より従来の「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」の枠を超え、経済成長と資源循環を両立させる、より包括的な「サーキュラーエコノミー」へ事業計画のコンセプトを変更し、再生プラスチックにも活動をひろげ対応。

2025年度JAIA事業計画の項目（抜粋）

(iii) サーキュラーエコノミー（リサイクル、再生材利用分野）

- (a) 自動車リサイクル法15年目評価提言等の中で会員に影響のある項目であるリサイクル料金の実費請求方式、資源回収インセンティブ制度の導入への対応
- (b) 2026年1月に稼働が予定されている自動車リサイクルシステム大改造後の新システムへの対応
- (c) METI及びMOEにおいて検討されている再生材（再生プラスチック等）利用の義務化への対応

脱炭素化再生資源利用WGヒアリング JAIA資料（2025.7.25）

- ・サーキュラーエコノミーの推進自体は賛同。
- ・日本での再生材利用に関する制度設計にあたっては、欧州 ELV規則などの動向も踏まえながら、その実施時期、内容について、国際的に調和する形にして頂きたい。
- ・海外ブランドの輸入業者であるJAIA会員については本国自動車メーカーの協力や情報提供が欠かせないことから、対応にあたっては十分な準備期間を設けて頂くほか、制度設計においてその特殊性を考慮頂きたい。
- ・また、本制度の目的達成には、供給サイドの課題解決（品質・価格・供給量）も不可欠であり、両輪での議論を期待する。
- ・なお、海外自動車メーカーにおいても再生材利用等を推進していく動きがある。

- ・ JAIA会員各社は、環境・安全性能に優れた魅力ある輸入車の提供を続けると共に、JAIAは日本政府や自動車産業及び販売市場に関わる全ての組織と協力して、ユーザー負担の軽減及びカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。
- ・ JAIAでは電動車の普及のために、バッテリーリサイクルを含む上記の5本柱を主軸に事業を推進。

- ①補助金制度等に関する政府への要望活動
- ②電動車普及促進イベントの開催
- ③充電電圧等に関する規制緩和の検討を含む
充電インフラの環境整備
- ④リチウムイオンバッテリーのリサイクル
- ⑤バッテリーの安全性

参考：2025年度 JAIA事業計画より抜粋

電動化の推進により必要不可欠なリチウムイオン電池（LiB）のリユース・リサイクルについて、リサイクル委員会の下に設置した廃リチウムイオン電池のリユースとリサイクルに関するタスクフォース（LiB RR TF）において、会員各社が適切に車載用蓄電池の回収に対応できるようサポートする。

欧州電池規則などの海外情報や日本政府の動きなどの国内情報を収集するだけでなく、電池リサイクル事業者やリサイクル業界団体と意見交換を実施し、リサイクル技術の実態も理解しながら適切な蓄電池リサイクル・リユースに向けた検討を進める。

JAIA会員のLiB共同回収システム加入状況

加入数	会社名
1	ビー・エム・ダブリュー
2	Stellantis Japan(アバルト、アルファロメオ、フィアット、ジープ、プジョー、DSオートモービル、シトロエン)
3	フォルクスワーゲングループジャパン(フォルクスワーゲン、アウディ)
4	BYD Auto Japan
5	BYD JAPAN
6	メルセデス・ベンツ日本
7	ルノー・ジャパン
8	Hyundai Mobility Japan
9	Ferrari Japan
10	ゼネラルモーターズ・ジャパン(シボレー)
11	ジャガー・ランドローバー・ジャパン

**2020年以降、JAIAは会員のLiB共同回収システム加入を促進。
大半は加入済であり、残りの社も加入に向け相談中。**

バッテリーリサイクルTFの活動

- ・ **2022年より**、JAIAは、電動車販売拡大による国内廃棄需要を見据え、新たに「**廃リチウムイオン電池のリユースとリサイクルに関するTF**」を設置し、活動を開始
- ・ CN・GXの観点で、バッテリーリサイクルの**現場訪問視察**、**事業者説明会**により会員の知見習得を推進
- ・ リサイクル事業者との連携強化を推進



リサイクル事業者現場訪問視察例

リサイクル事業者より説明を受ける入野副理事長(右から3人目)及びJAIAリサイクル委員

リサイクル事業者説明会

- ・ フォーアールエナジー(2021.10)
- ・ DOWAエコシステム*(2022.07)
- ・ JFEエンジニアリング(2022.10)
- ・ VOLTA *(2022.12)
- ・ JX苫小牧ケミカル(2023.02)
- ・ 松田産業(2023.02)
- ・ 共英製鋼・関東スチール*(2023.03)
- ・ 豊田ケミカルエンジニアリング(2023.04)
- ・ JX金属*(2023.05)
- ・ 住友金属鉱山(2023.06)
- ・ オオノ開発*(2023.06)
- ・ 山陽レック*(2023.09)
- ・ オオノ開発*(2024.05)

*JARPセーフティネット委託業者

- ・2024年、電動車の課題解決等のために賛助会員制度を創設
- ・バッテリーリサイクル事業者が賛助会員として加盟
- ・正会員/賛助会員を含め課題解決の深化とリサイクル等の高度化を推進

賛助会員企業一覧（2025年10月1日現在 計19社）

☆バッテリー・リサイクル関連

	会員名
1.	DOWAエコシステム株式会社
2.	JFEエンジニアリング株式会社
3.	株式会社JOH
4.	オオノ開発株式会社

■充電・充填インフラ関連

	会員名
1.	ABB株式会社
2.	ベルエナジー株式会社
3.	株式会社e-Mobility Power
4.	株式会社エネゲート
5.	ENEOS 株式会社
6.	株式会社ファム
7.	岩谷産業株式会社
8.	ニチコン株式会社
9.	日東工業株式会社
10.	株式会社ブラゴ
11.	株式会社パワーエックス
12.	株式会社東光高岳
13.	Terra Charge 株式会社
14.	ユビ電株式会社

■整備人材関連

	会員名
1.	在日ドイツ商工会議所

■ 2024年「カーボンニュートラル促進イベント in 東京」概要

場所：東京・丸の内エリア

内容：最新の輸入電動車のラインナップの展示、トークセッション、輸入電動車同乗試乗会

主催：日本自動車輸入組合 (JAIA)

共催：日刊自動車新聞社

後援：経済産業省、国土交通省、環境省、東京都、千代田区、日本自動車会議所、日本自動車工業会、日本自動車販売協会連合会、2025年日本国際博覧会協会、日本貿易会



テープカット・フォトセッション
JAIA理事長・副理事長・理事、
三省庁(METI、MLIT、MOE)、東京都、
共済・後援団体、在京大使館の皆さま



「行幸通り」での展示風景



トークセッション開催の様子
経済産業省伊藤自動車課長、
国土交通省、東京都、
充電インフラ事業者等が登壇



日本国際博覧会公式キャラクター
「ミャクミャク」も開会式典に来場



大阪・関西万博が発信する脱炭素・
資源循環の取り組みを紹介



DOWAエコシステム、オオノ開発出展
(写真はDOWAエコシステム)

カーボンニュートラルを実現するため、政府の政策を意識して活動

JAIA主催イベントへリサイクル事業者に出展頂き、リサイクルに関する理解を深めることに貢献

2023年輸入電動車普及促進
イベント in 神戸



DOWAエコシステム・松田産業
出展（写真は賛助会員DOWAエ
コシステム）

JAPAN MOBILITY SHOW
2023



DOWAエコシステム・山
陽レック・オオノ開発出展

2024年試乗会（大磯）



オオノ開発出展

2025年試乗会（大磯）



JFEエンジニアリング出展

**JAIA事業の様々な機会を捉え、バッテリーリサイクル高度化プロセスの商用化促進
に向け、バッテリーリサイクル関連企業と連携。**

今後もバッテリーリサイクルを重要な課題として位置づけて引き続き取り組んでいく。

JAIA60周年トークセッションとして、JAIAメンバー各社幹部によるGX・DXについての最新情報(バッテリーリサイクル関連等を含む)を紹介予定

■2025年「JAIA創立60周年記念イベント in 奈良」概要

世界遺産 薬師寺に輸入電動車・充電インフラ・自動運転の最新技術が集結するイベント

JAIA創立60周年記念イベント in 奈良

2025年11月26日（水） 会場／法相宗大本山 薬師寺

名称：JAIA創立60周年記念イベント in 奈良 輸入電動車のDX/GXの取り組み

■日時：11月26日（水）10:00-17:20

<セミナー(トークセッション)>
 ◎時間:15:00-17:20
 会場:食堂
 内容:主催者挨拶
 来賓挨拶
 (経済産業省、国土交通省、奈良県関係者 ※予定)
 ステージイベントとして、

セミナー(トークセッション)を実施
DX/GXに関する各社取り組みの発表
(バッテリーリサイクルについても紹介予定)

<充電・リサイクル関連事業社展示>
 ◎時間:10:00-17:00
 会場:まほろば会館前 食堂 ※予定
 内容:JAIA賛助会員等の最先端技術や
 ソリューションを紹介するブース

<試乗車展示>
 ◎時間:15:00-17:00 ※予定
 会場:本坊前エリア
 内容:車両の展示

<車両展示>
 ◎時間:10:00-17:00
 会場:本坊前エリア
 内容:車両の展示

<輸入電動車同乗試乗会>
 ◎時間:10:00-15:00
 (受付10:00～随時 まほろば会館1F)
 会場:まほろば会館横 駐車場
 内容:約20台の輸入電動車の試乗会



写真：薬師寺東塔

主催：日本自動車輸入組合（JAIA）
後援：経済産業省、国土交通省、奈良県 ※予定（現時点）
共催：日刊自動車新聞社